

会報

通常総会議事報告

一般社団法人溶接学会 第85回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成29年4月20日(木)10:00～11:30

場所 学術総合センター 一橋記念講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-1

平成28年度事業報告

(平成28年3月1日から平成29年2月29日まで)

平成28年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第4条1項)

1.1 春季全国大会

平成28年4月12日～14日：ATC（アジア太平洋トレードセンター）（大阪）

研究発表講演（102件），特別講演（1件），シンポジウム（講演7件），フォーラム（講演8件）

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成28年9月14日～16日：HOTEL 天坊（群馬県伊香保）

研究発表講演（203件），ポスター発表（71件），特別講演（1件），論文賞受賞講演（2件），フォーラム（講演5件），ワークショップ（講演5件），技術セッション（講演5件）

参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第4条1項)

2.1 平成28年度溶接入門講座（第48回）

会 期 平成28年6月14日，15日

会 場 フォーラムミカサエコ（東京）

受講者 42名

2.2 平成28年度溶接工学夏季大学（第64回）「中堅技術者講座」

会 期 平成28年7月25日～7月27日

会 場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール

受講者 45名

2.3 平成28年度溶接工学専門講座（第3回）

軽構造接合加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催
「ものづくり力伝承講座 ～抵抗溶接とFSW（摩擦撹拌接合）を深める～」

会 期 平成28年11月16日

会 場 フォーラムミカサエコ（東京）

受講者 34名

2.4 溶接部の腐食防食トラブル防止事例講習会（第2回）

溶接学会「溶接冶金研究委員会」と腐食防食学会「プラント構成材料溶接部の腐食分科会」の共同開催

会期 平成28年12月5日

会場 RCC文化センタ（広島）

受講者 60名

3. 刊行 (定款第4条3項)

3.1 溶接学会誌85巻2号～86巻1号（8冊）

主な内容 特集，展望，レビュー&トレンド，溶接接合教室，実験指南，他

3.2 溶接学会論文集34巻2号～35巻1号（4冊）（WEB）

主な内容 研究論文31篇

3.3 全国大会講演概要集 第98集および第99集（2冊）

3.4 平成28年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

4. 研究活動 (定款第4条1項)

4.1 研究推進部会（廣瀬明夫会長）

2回の会合を開催し，各研究委員会の活動状況の把握及び調整，特別研究会・アドホック研究会・ミニ研究会の活性化，全国大会運営の活性化，専門教育講座計画，内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)への協力，若手グローバルネットワーク活動についての検討およびJST俯瞰報告書，同基盤技術ワークショップへの協力，材料系学協会連携協議会（幹事会）への参画を行った。

(1) 春季全国大会においてフォーラム「溶接残留応力と疲労強度」を開催した。

(2) 秋季全国大会においてフォーラム「レーザ加工における基礎・応用の現状と次世代技術」を開催した。

(3) 溶接冶金研究委員会が中心となり，腐食防食学会との研究交流を継続実施した。平成28年12月5日，「第2回溶接部の腐食トラブル防止事例講習会」を腐食防食学会と共同開催した。

(4) 軽構造接合加工研究委員会が企画し，溶接工学専門講座「ものづくり力伝承講座 ～抵抗溶接とFSW（摩擦撹拌接合）を深める～」を開催した。

(5) 特別研究会「異材接合3Dプリンタ」（桐原聡秀主査）

平成28年度は，春季全国大会にてオーガナイズドセッション「アディティブ・マニファクチャリングにおける溶接・接合現象」を開催し，また，研究推進部会主催で，溶接法，溶接冶金，高エネルギービーム加工，マイクロ接合，界面接合各研究委員会合同による第1回異材接合3Dプリンタ合同研究会を12月9日に開催した。

(6) アドホック研究会「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」（村川英一主査）

平成28年度（最終年度）は，前年度に引き続き，多層溶接継手の溶接実験および各種溶接力学シミュレーションソフトを使用して得た計算結果を比較することで，溶接力学シミュレーションソフトが有用なツールになり得ることを確認した。成果は，秋季全国大会にてオーガナイズド・セッション「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」を開催し報告した。

(7) アドホック研究会「先進観察技術活用研究会」（寺崎秀紀主査）
平成28年度（最終年度）は，広島大学にて「溶接現象の可視化の実験」を当研究会主催で開催し，近年注目を集めている可視化センサーを用いた先端観察技術の研究動向，および最新機器・システムの開発動向について，講演および実演を行った。

(8) ミニ研究会「アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象」（藤井啓道主査）

平成28年度（最終年度）は，東北大学にて超音波接合に関する総合討論会を開催し，また秋季全国大会において成果報告を行った。

(9) ミニ研究会「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」（廣畑幹人主査）の新規発足が承認され，平成29

年度より活動を開始する。

- (10) SIP「溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発」拠点に関して、平成27年度に各研究委員会から委員を募り設置したSIP溶接拠点分科会（民間13社、中立1機関参画）は、平成28年度において拠点との情報交換、意見交換の活動を継続して活動を行った。
- (11) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、第23回シンポジウム「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装」(Mate2017) 開催した。
- (12) JST俯瞰報告書の作成ならびにJSTエネルギー基盤技術ワークショップへの対応を行った。
- (13) 日本学術会議材料工学委員会材料系学協会連携協議会幹事会（材料連合協議会幹事会に改称）に参画して、材料系学協会連携活動を推進した。

4.2 溶接構造研究委員会（望月正人委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第213回	28.3.18	東京	38	研究報告 5件 日本船舶海洋工学会 材料・溶接研究会と合同
第214回	28.6.13	東京	32	JIW 第10委員会とJWES 鉄鋼部会FTE 委員会と合同
第215回	28.7.8	大阪	24	研究報告 4件
第216回	28.11.10	大阪	21	研究報告 4件
研修会	28.11.29～30	千葉	23	溶接構造物の破壊安全性評価の実際
第217回	29.1.24	東京	20	研究報告 4件

4.3 溶接法研究委員会（浅井 知委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第234回	28.5.11	東京	50	研究報告 5件
第235回	28.8.2	大阪	57	研究報告 5件
第236回	28.11.29～30	愛媛	40, 40	研究報告 6件 見学会
第237回	29.1.24～25	東京	58,49	研究報告 13件

4.4 溶接冶金研究委員会（才田一幸委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第223回	28.5.18	東京	29	研究報告 3件
第224回	28.8.30	大阪	34	研究報告 6件
第225回	28.11.21～22	神奈川	32, 27	研究報告 4件 見学会 講演会
	28.12.5	広島	60	溶接部の腐食トラブル防止事例講習会 (腐食防食学会と合同開催)
第226回	29.1.23	東京	30	研究報告 5件
S11回	28.6.20	大阪	36	腐食防食学会との研究交流・合同委員会
S12回	28.11.7	東京	27	腐食防食学会との研究交流・合同委員会

4.5 溶接疲労強度研究委員会（大沢直樹委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第249回	28.5.20	東京	23	研究報告 4件
第250回	28.7.28	東京	24	研究報告 4件
第251回	28.11.4	岡山	17	見学会
第252回	29.1.12	東京	22	研究報告 4件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（川人洋介委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第82回	28.6.28	東京	23	研究報告 5件
第83回	28.10.26	大阪	22	研究報告 3件 見学会
第84回	29.1.24～25	東京	58,49	研究報告 13件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（芹澤 久委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第113回	28.6.9	東京	39	研究報告 6件
第114回	28.7.22	大阪	28	研究報告 5件
第115回	28.12.1	神奈川	23	研究報告 2件 見学会
第116回	29.1.18	東京	40	研究報告 6件

4.8 マイクロ接合研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第113回	28.5.20	東京	28	研究報告 6件
第114回	28.7.22	大阪	28	研究報告 5件 見学会
第115回	28.9.13	大阪	34	研究報告 6件
第116回	28.12.19	東京	63	研究報告 6件 第1回異材接合3Dプリンタ合同研究委員会と合同
シンポジウム	29.1.31～2.1	横浜	552	Mate2017シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（宮澤靖幸委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第102回	28.5.26	東京	33	研究報告 5件
第103回	28.10.21	東京	30	研究報告 6件 日本溶接協会先端材料接合委員会と合同
第104回	29.1.20	東京	22	研究報告 6件

5. 国内活動（定款4条項4）

5.1 日本溶接会議(JIW)の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他（承認順）

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、軽金属溶接協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1)協賛：(公社)日本アイソトープ協会「第53回アイソトープ・放射線研究発表会」(H28.7.6-8)
- (2)協賛：(一社)レーザ加工学会「第85回レーザ加工学会講演会」(H28.6.9-10)
- (3)協賛：(一社)日本鉄鋼協会「第225・226回西山記念技術講座」(H28.6.10,17)
- (4)協賛：(一社)日本材料学会「第33回疲労シンポジウム」(H28.11.11-12)
- (5)協賛：(一社)日本材料学会「第27回初心者のための疲労設計講習会」(H28.10.11-12)
- (6)協賛：(公社)日本顕微鏡学会「第26回電子顕微鏡大学」(H28.7.7-8)
- (7)協賛：(一社)日本高圧力技術協会「水素社会を支える材料強度評価技術の最前線」(H28.6.16-17)
- (8)協賛：(一社)日本塑性加工学会「第67回塑性加工連合講演会」(H28.10.21-23)
- (9)協賛：(公社)日本材料学会「第46回初心者のための有限要素法講習会」(H28.8.1-2, 25-26)
- (10)協賛：(一社)日本機械学会「第16回リーダーを目指す技術者倫理セミナー」(H28.5.14)
- (11)後援：(一社)日本溶接協会「原子力発電所のリスクを考慮した安全性向上に関するシンポジウム」(H28.6.21)
- (12)協賛：(一社)日本高圧力技術協会「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(H28.7.7-8)
- (13)後援：(一社)日本溶接協会「デジタルラジオグラフィに関する技術講習会」(H28.7.7-8, 11-12)
- (14)協賛：(一社)日本保全学会「第13回学術講演会」(H28.7.25-27)
- (15)協賛：(公社)日本材料学会「第14回フラクトグラフィシンポジウム」(H28.10.14)
- (16)協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会関西支部「関西ワークショップ2016」(H28.7.14-15)
- (17)協賛：(公社)腐食防食学会「第70回技術セミナー」(H28.7.12)
- (18)協賛：(公社)腐食防食学会「第43回コロージョン・セミナー」(H28.7.20-22)
- (19)後援：(公社)溶接接合工学会振興会「インフラの経年劣化の現状と課題」(H28.5.17)
- (20)後援：(公財)神奈川科学技術アカデミー「基礎から考えるプレス成形加工」(H28.10.6-7)
- (21)協賛：(一社)軽金属学会「第32回軽金属セミナー」(H28.6.10)
- (22)協賛：(一社)軽金属学会「第33回軽金属セミナー」(H28.7.8)
- (23)後援：(公財)燕三条地場産業振興センター「燕三条ものづくりメッセ2016」(H28.10.27-28)
- (24)協賛：(一社)日本機械学会「第12回最適化シンポジウム2016」(H28.12.6-7)
- (25)協賛：(一社)日本非破壊検査協会「平成28年度非破壊検査総合シンポジウム」(H28.6.6-7)
- (26)協賛：(一社)日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会」(H28.8.26)
- (27)協賛：(一社)日本能率協会「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2016」(H28.7.20-22)
- (28)協賛：(一社)日本検査機器工業会「第8回総合検査機器展」(H28.9.28-30)
- (29)協賛：(公社)日本材料学会「第5回若手研究者および技術者のための高温強度講習会」(H28.9.28-30)
- (30)協賛：(公社)日本材料学会「第2回材料WEEK」(H28.10.11-14)
- (31)協賛：(一社)軽金属溶接協会「アルミニウムろう付技術基礎講習会」(H28.11.18)
- (32)協賛：(公社)日本金属学会「チタン合金の研究・開発最前線2016」(H28.9.12)
- (33)協賛：(公社)日本材料学会「2016年度JCOM若手シンポジウム」(H28.8.22-23)
- (34)協賛：(一社)日本機械学会「第26回設計工学・システム部門講演会」(H28.10.8-10)
- (35)協賛：(一社)日本機械学会「機械の日・機械週間」記念行事(H28.8.7)
- (36)協賛：(一社)軽金属学会「第34回軽金属セミナー」(H28.9.2)
- (37)後援：(一社)エレクトロニクス実装学会「2016ワークショップ」(H28.10.13-14)
- (38)後援：(一社)日本溶接協会「ステンレス鋼のアーク溶接および新しい溶接法による施工技術の実際」(H28.9.8)
- (39)協賛：(一社)軽金属学会「第131回秋期大会」(H28.11.5-6)
- (40)協賛：(公社)腐食防食学会「第63回材料と環境討論会」(H28.10.17-19)
- (41)協賛：(公社)腐食防食学会「第71回技術セミナー」(H28.9.30)
- (42)協賛：(一社)強化プラスチック協会「第61回FRP総合講演会・参考展示会」(H28.11.12-13)
- (43)協賛：(一社)日本鉄鋼協会「第86回白石記念講座」(H28.10.26)
- (44)協賛：(一社)日本鉄鋼協会「第227・228回西山記念講座」(H28.11.9&25)
- (45)協賛：(公社)日本材料学会「第13回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会」(H28.9.8-9)
- (46)協賛：(公社)日本材料学会「第26回初心者のための疲労設計講習会」(H28.9.8-6)
- (47)協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会第312回例会」(H28.9.29)
- (48)協賛：科学技術振興機構「研究成果展開事業産学共創基礎基盤研究プログラム公開シンポジウム」(H28.9.22)
- (49)協賛：(一社)日本溶接協会「第3回溶接・接合プロセス研究委員会シンポジウム」(H28.11.11)
- (50)協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第26回マイクロエレクトロニクスシンポジウム秋季大会」(H28.9.8-9)
- (51)協賛：(一社)日本高圧力技術協会「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(H28.11.1-2)
- (52)協賛：(公社)日本材料学会「第29回信頼性シンポジウム」(H28.12.15-16)
- (53)協賛：(公社)日本材料学会「第54回高温強度シンポジウム」(H28.12.8-9)

- (54)協賛：(一社)レーザ加工学会「第18回レーザ精密微細加工国際シンポジウム」(H29.6.5-8)
- (55)協賛：(一社)日本能率協会「EU Green Gate to Japan」プロジェクト (H29.7.1-H32.12.31)
- (56)後援：(一社)日本工作機械工業会「第17回国際工作機械技術者会議」(H28.11.17-22)
- (57)協賛：(公社)日本材料学会「第42回腐食防食講習会」(H28.11.17)
- (58)協賛：(一社)軽金属学会「第99回シンポジウム 加工と熱処理による優先方位制御」(H28.11.28)
- (59)協賛：(一社)軽金属学会「第100回シンポジウム 押出加工および鋳造の予測技術」(H28.12.14)
- (60)協賛：科学技術振興機構「SIP革新的構造材料 マテリアルズインテグレーションシンポジウム2016」(H28.11.1-2)
- (61)協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第23回国際アコースティック・エミッションシンポジウム」(H28.12.8-9)
- (62)後援：(一社)日本溶接協会「原子力プラント機器の健全性評価に関する講習会」(H28.12.13-14)
- (63)協賛：(公社)日本材料学会「第53回X線材料強度に関する討論会」(H28.12.2)
- (64)協賛：(公社)腐食防食学会「第185回腐食防食シンポジウム」(H28.12.8)
- (65)協賛：(一社)レーザ加工学会「第86回レーザ加工学会講演会」(H29.12.12-13)
- (66)協賛：(公社)日本材料学会「第3回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー」(H28.12.14)
- (67)協賛：(公社)日本ガスタービン学会「第45回ガスタービンセミナー」(H29.1.26-27)
- (68)協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「関西支部若手研究セミナー」(H28.11.10)
- (69)協賛：(一社)日本高圧力技術協会「第17回エネルギー貯槽セミナー」(H29.2.2)
- (70)協賛：(公社)日本材料学会「第28回初心者のための疲労設計講習会」(H28.11.29-30)
- (71)協賛：(一社)日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2016」(H28.11.17-18)
- (72)協賛：(一社)日本機械学会「第17回リーダーを目指す技術者倫理セミナー」(H28.11.12)
- (73)後援：(公財)溶接接合工学振興会「第27回セミナー」(H28.10.18)
- (74)協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第48回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H29.1.21)
- (75)協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第24回超音波による非破壊評価シンポジウム」(H29.1.26-27)
- (76)協賛：(一社)軽金属学会「第101回シンポジウム 多機能性アルミニウム材料の開発と応用」(H29.1.17)
- (77)協賛：(一社)軽金属学会「第33回軽金属セミナー」(H29.1.27)
- (78)協賛：(一社)軽金属学会「第102回シンポジウム こんなことまでできるの！アルミの表面処理で！」(H29.2.17)
- (79)協賛：(一社)日本溶接協会「LMPシンポジウム2017 レーザ加工技術の基礎・応用と最新動向」(H29.2.9-10)
- (80)協賛：大阪大学接合科学研究所「東京セミナー」(H28.12.9)
- (81)協賛：(公社)日本アイソトープ協会「第54回アイソトープ・放射線研究発表会」(H27.7.)
- (82)協賛：(公社)日本材料学会「第2回マルチスケール材料力学シンポジウム」(H29.5.26)
- (83)協賛：(一社)日本塑性加工学会「平成29年度塑性加工春季講演会」(H29.6.8-10)
- (84)協賛：(一社)日本計算工学会「第22回計算工学講演会」(H29.5.31-6.2)
- (85)協賛：(一社)軽金属学会「第132回春期大会」(H29.5.20-21)
- (86)協賛：(公社)日本材料学会「第36回疲労講座」(H29.1.20)
- (87)協賛：(公社)日本材料学会「第51回X線材料強度に関するシンポジウム」(H29.7.27-28)
- (88)協賛：(一社)日本非破壊検査協会「表面探傷技術における現場と研究の融合」(H29.3.9-10)
- (89)協賛：(一社)日本能率協会「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2017」(H29.7.19-21)
- (90)協賛：(一社)日本接着学会「第55回日本接着学会年次大会」(H29.6.15-16)
- (91)協賛：(公社)日本船舶海洋工学会「第26回海洋工学シンポジウム」(H29.3.6-7)
- (92)協賛：(一社)日本非破壊検査協会「安心・安全な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム」(H29.3.13-14)
- (93)協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第31回エレクトロニクス実装学会春季講演大会」(H29.3.6-8)
- (94)後援：(一社)日本溶接協会「ステンレス鋼のアーク溶接および新しい溶接法による施工技術の実践」(H29.2.10)
- (95)協賛：(公財)高輝度光科学研究センター「第12回Spring-8金属材料評価研究会」(H29.3.3)
- (96)共催：(公社)日本学術会議材料工学委員会「材料工学から見たものづくり人材育成の課題と展望」(H29.4.22)
- (97)協賛：(一社)日本鉄鋼協会「第229・230回西山記念技術講座」(H29.6.7, H29.7.5)

5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本鋼構造協会	J S S C
軽金属溶接協会	軽金属溶接	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
高圧ガス保安協会	高圧ガス		ふえらむ
電気学会	電気学会誌		ISIJ International
土木学会	土木学会誌	日本溶射協会	溶射
日本機械学会	日本機械学会誌	日本溶接協会	溶接技術
日本金属学会	まてりあ	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌 KANRIN (咸臨)
日本建築学会	建築雑誌	日本接着学会	日本接着学会誌

6. 国際活動(定款4条項4)

- 6.1 国際溶接学会 (IIW) 関連
日本溶接会議 (JIW) の活動を通じて、国際溶接学会 (IIW) の活動および第69回年次大会(メルボルン/オーストラリア、7月10日～15日、参加者は48カ国700名超)に参加した。
- 6.2 第6回日中韓ジョイントシンポジウム (EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining) がインチョン/韓国のPOSCO Global R&D Centerで平成27年9月2日～3日に開催され、日本から15名が参加した。今回は溶接学会としては、最後の参画となる。
- 6.3 国際会議「10th International Conference on Trends in Welding Research & 9WS」をAWS (American Welding Society) と共催で、平成28年10月11～14日、一橋講堂 (東京) にて開催した。
- 6.4 アジア溶接連盟 (AWF) 関連の活動に参加した。
- 6.5 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Journal	オーストラリア
2 Schweiss-& Pruftechnik	オーストリア
3 Soldagem & Inspecao	ブラジル
4 Welding and Cutting	ドイツ
5 Hitsaus Tekniikka	フィンランド
6 Rivista Italiana della Salddatura	イタリア
7 大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	韓国
8 大韓溶接学会誌	〃
9 Lastechnik	オランダ
10 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
11 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
12 Welding & Material Testing	ルーマニア
13 Sudura	〃
14 Revista de Metalurgia	スペイン
15 Svetsaren	スウェーデン
16 Welding International	英国
17 Connect	〃
18 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
19 Zavaranie svarovani	スロバキア
20 地質学報	中国
21 金属学報	〃
22 鋼鉄	〃
23 冶金分析	〃
24 China Welding	〃
25 Weldpoint	シンガポール

II 会 務 報 告

1. 第84回通常総会

日 時：平成28年4月13日(水)

開 会 午前10時15分 閉 会 午前11時44分

場 所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 O's南6階

アジア太平洋トレードセンター コンベンションルーム I

議決権を有する者：代議員 92名

出 席 31名

委任状 49名

合 計 80名 (総数92名)

議 事

- ①〔第1号議案〕平成27年度事業報告の件 承認
- ②〔第2号議案〕平成27年度決算報告の件 承認
- ③〔第3号議案〕監査報告 承認
- ④〔第4号議案〕平成28・29年度理事・監事選任の件 承認
- ⑤平成28年度事業計画の件 報告
- ⑥平成28年度予算の件 報告
- ⑦名誉員の推薦
・小溝裕一
- ⑧特別員の推薦
・稲垣正壽 ・菅 哲男 ・鈴木暁男 ・西尾一政

⑨ 表彰の件

溶接学会業績賞

・小関敏彦 ・才田一幸

佐々木賞

・下楠善昭 ・中野利彦 ・宮崎康信

溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

・茂田正哉, 中西省太, 田中 学

・小川和博, 小薄孝裕

溶接学会論文奨励賞

・荻野陽輔 ・庄司博人 ・山口拓人

田中亀久人賞

・松村浩史, 横田順弘, 山崎 圭, 鈴木励一

溶接学術振興賞

・平 博仁 (東海支部長推薦)

・平岡 裕 (中国支部長推薦)

・吹田義一 (四国支部長推薦)

・外本和幸 (九州支部長推薦)

妹島賞

・堅田寛治, 山中伸好, 足立浩隆, 蘭 章明

溶接学会ベストオーサー賞

・佐々木直彦 (胤成) ・福田敏彦 ・佐藤 裕

溶接学会技術貢献賞

・富士本博紀

溶接技術奨励賞

北海道支部: 安久津昌義

東北支部: 笠松富二夫, 横田 理

東部支部: 松本泰一, 山本 光

東海支部: 熊谷達也, 樋口 匡

関西支部: 上山智之, 武内 清, 山路鉄生

中国支部: 崎野良比呂

四国支部: 津山忠久

九州支部: 勝田順一, 中野光一

溶接技術普及賞

北海道支部: 安田 敦

東北支部: 上條 正, 高橋雄治

東部支部: 熊谷英一, 矢野徳仁

東海支部: 蛭川 保, 山中忠志

中国支部: 高山領一, 竹波敏行

四国支部: 小笠原 果

九州支部: 古賀茂好, 仲摩吉成

溶接学会優秀研究発表賞

平成27年度春季全国大会: 三浦拓也, 辻あゆ里,
PONGMORAKOT KITTIPAN平成27年度秋季全国大会: 古谷拓希, 三輪剛士, 大谷直之,
篠原貴彦, 白沢卓大, 南 翔太

溶接学会優秀ポスター発表賞

・吉田寛紀 ・山本将之 ・石田和也

溶接学会シンポジウム賞

Mate 2016

Mate 2016優秀論文賞

・中田裕輔, 橋本富仁, 林 和, 莊司郁夫

Mate 2016奨励賞

・居村史人 ・松原寛明

溶接学会奨学賞

東北支部: 古谷拓希

東部支部: 内山 学, 寺井 克

東海支部: 伊東篤志, 神渡弘一

関西支部: 浅間晃司, 飯田将裕, 市川新也, 柏山忠義

中国支部: 大谷直之

四国支部: 近藤政孝

九州支部: 木村俊介, 曾 鮮

⑩ 溶接学会フェロー認定 (入会年順)

・才田一幸 ・糟谷 正 ・興石房樹 ・安西敏雄

⑪ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及びその活用状況報告

⑫ 感謝状贈呈

北海道支部殿 (平成27年度秋季全国大会開催担当)

2. 理事会 (定例6回, 臨時1回)

本年度の主な議題・決議事項

(1) 平成27年度事業報告・決算

①平成27年度事業報告・決算について承認し, 通常総会に諮ることとした。

(2) 学会組織運営

①平成28・29年度理事・監事について, 第84回通常総会に推薦することを決議した。

②第84回通常総会で承認された理事の中から代表理事 会長, 代表理事 副会長を選定した。

③平成28・29年度理事会の業務分担を決議した。

④平成28・29年度の支部長および各業務委員会・研究委員会の委員について承認した。

⑤平成28年度各賞授賞審査委員長を指名し, 審査委員会について承認した。

⑥事務局長後任人事について承認した。

(3) 学会活性化・効率化

①溶接界発展のための日本溶接会議 (JIW) の改組と日本溶接協会との共同事業の開始について, 承認した。具体的には日本溶接会議 (JIW) を従来の国際溶接学会 (IIW) 対応に加えて, 溶接学会と日本溶接協会で共同推進が必要な企画を幅広い視点から立案する組織に改組するものである。共同企画立案のため, JIWに共同企画委員会を設置することとし, 両学協会から各4名の委員を選任して活動を開始した。

②溶接学会主催行事 (公開行事) 予定の事務局長一元管理と学会ホームページ掲載について承認した。平成28年7月から学会ホームページ掲載を開始した。

③支部教育活動支援のための講師人材バンクについて, 溶接教育委員長の一元管理として整備することを承認した。平成28年9月に講師人材バンクの整備を完了し, 供用開始した。

④〔新版〕溶接・接合技術入門 (WES2級対象テキストとして使用されている) について, 日本溶接協会と溶接学会が共同で改訂することを承認した。

⑤平成28年4月から学生員への学会誌送付を廃止し, 電子版閲覧に移行することを承認した。

⑥会員特典明確化の一環として, JST一般公開制限を学会誌は3年→5年, 全国大会講演概要集は2ヶ月→5年に延長することを承認した。

⑦秋季全国大会における開催支部支援金の使途制限の撤廃を承認した。従来, 使途は会場費に限定されてきた経緯がある。

⑧論文審査・査読システム, 全国大会受付システム等の円滑な運用を図るため, サーバーのリニューアルを承認した。

⑨全国大会ポスターセッションについて, 運営主体を全国大会運営委員会から若手会員の会に移管することを承認した。

⑩平成28年度名誉員・特別員を推薦し, 各賞受賞者について承認した。

(4) 研究委員会活動

①「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会の平成29年度発足を承認した。

②Mate2017シンポジウム開催, 「Mate2017の共同開催に関する覚書」および溶接学会シンポジウム賞授賞について承認した。

(5) 国際対応

①EAST-WJ (日・中・韓ジョイントシンポジウム) は, 平成29年度より中国と韓国の共同開催となり, 日本は個人的な参加方式とし, 溶接学会としては参画しないこととなった。

②10th Trends in Welding Research Conference & 9WSの会計報告について承認した。

(6) 財務強化

①正員および賛助員の減少をリカバーするため理事会, 企画委員会, 支部長が中心となって「入会勧誘推進活動」を継続実施した。

(7) 平成29年度事業計画・予算

①平成29年度事業計画・予算について承認した。

(8) その他

- ①平成28年熊本地震の被災会員（個人会員）に対する平成28年度会費免除を決議した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会（才田一幸委員長）

年度内5回の委員会を開催し、学会の再活性化のために、以下の活動基盤強化アクションを展開した。

- (1) 日本溶接協会との連携強化：本会と日本溶接協会は、溶接界のさらなる発展に向け連携を強化することとした。平成28年10月1日より、本会と日本溶接協会が運営してきた日本溶接会議(JIW)を改組し、国際溶接学会(IIW)の対応を充実させるとともに、高い見地から共同事業を推進することを開始した。共同企画立案のためJIWに共同企画委員会を設置し、本会の企画委員会と日本溶接協会の総合企画会議が連携し、溶接界発展のための新たな取組みを立案・実行する予定である。
- (2) 将来ビジョンアクション：昨年度に策定した「溶接学会将来ビジョン」に基づき、それぞれの提案・施策事項に対する準備・進捗状況の確認、要検討事項の明確化、ならびに、学会活性化に向けたさらなる施策の提案を行い、将来ビジョンアクションの着実な実行に向けた取り組みを行った。
- (3) 財務強化アクション：企画委員会および会長からの提言に対応して、会員増強、学生会員の取り扱い、フェロー会員費、賛助員メリットの明確化などについて、具体的施策を検討・実施し、財務強化に資するアクションを実行することとした。
- (4) 編集出版アクション：学会誌内容の刷新、学生員への学会誌送付の廃止、Welding International誌への対応、電子コンテンツ（学会誌バックナンバー）の充実などについて検討した。
- (5) 情報化アクション：電子コンテンツの整備、学会サーバー（HP、査読システム）変更、HP充実および英文化などについて検討するとともに、学会行事予定の一元管理（HP掲載）、学会誌および全国大会講演概要集の一般公開制限を5年に延長することとした。また、メールマガジンを4回配信した。
- (6) 全国大会アクション：全国大会開催計画、全国大会への参加申込み方法変更、全国大会情報の早期公開、秋季全国大会支部支援金の使途制限撤廃などについて検討し、実施すべく進めることとした。
- (7) 国際化アクション：2016年9月8日～9日POSCO Global R&D Center（韓国・仁川）において第6回日中韓ジョイントシンポジウム（EAST-WJ2016）が開催された。来年からは中韓で開催し、日本からは任意参加となった。また、2016年10月11日～14日一橋講堂（東京）において、「10th International Conference on Trends in Welding Research & 9WS」がAWSとの共催で開催され、350名の参加者を迎えて成功裏に終えた。
- (8) 研究委員会アクション：学会活動領域の拡充のため、「異材接合3Dプリンタ合同研究会」を設置し、平成28年12月9日に第1回委員会を開催した。また、ミニ研究会「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」の発足を承認した。さらに、2017年度版JSTナノテクノロジー・材料分野の俯瞰報告書およびエネルギー基盤技術（工学）俯瞰ワークショップに対応し、資料作成および講演者派遣を行った。
- (9) 教育関連アクション：溶接工学夏季大学の開催団体の変更、支部教育活動支援のための講師人材バンクの整備を推進するとともに、日本溶接協会から依頼された「溶接・接合技術入門」の改訂について、本会教育委員会にて対応することとした。
- (10) 論文査読・審査アクション：Welding Lettersの発刊に向けた査読体制の構築、STWJ誌への推薦などについて検討するとともに、査読システムの新サーバーへの移行を推進した。
- (11) 若手活性化アクション：グローバルネットワーク活動、秋季全国大会ポスターセッション運営、WELNET勉強会に

ついて検討するとともに、若手会員の会主催によるイブニングフォーラム、研究会、見学会、講演会などの企画・開催を推進した。

3.2 溶接情報化委員会（浅井知委員長）

本会の情報化方針をふまえて、WG打合せとE-mail持ち回り協議を行い、本会の情報発信に関する以下の活動を実施した。

- (1) 全国大会運営委員会と連携し、バージョンが古く種々問題となっている溶接学会サーバーのリニューアル準備を行った。これにより、年間維持使用料なども低減できることになる。
- (2) 学会活動の情報発信強化のため、学会HPの英文化をすすめることになり、英文化する項目の選定とコンテンツの検討をすすめた。

3.3 編集委員会（佐藤嘉洋委員長）

溶接学会誌ならびに溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、下記に示す7回の特集と1回のレビュー＆トレンドの企画を行った。

タイトルは以下の通りである。

「疲労」

「マイクロ接合技術の新展開」

「レーザ溶接・加工の最新技術」

「水素社会の到来と新しい溶接・溶断・溶射技術」

「溶接・接合をめぐる最近の動向」

「冶金的アプローチによる溶接・接合研究」

「最新の溶接ロボット施工技術」

「レビュー＆トレンド：低変態温度溶接材料を利用したの高張力鋼溶接部疲労向上技術」

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター112名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、平成27年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告をVol.85, No.5に掲載した。アンケート結果も考慮して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者3件を選考した。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-stage）にて、溶接学会誌は創刊号からを対象として、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から一般公開した。英文誌STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加した。

3.4 論文査読・審査委員会（山根 敏委員長）

平成29年2月13日（月）に大阪大学接合科学研究所で全委員が集まる定例委員会を開催した。平成27年度からExpress査読が始まっているが、対象は全国大会から推薦された論文であった。これを一般の投稿論文までに拡大することが確認され、会告への掲載方法などが検討された。また、英文誌STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集とSTWJ-JWS collaboration推薦投稿を継続している。STWJとの関係を明確にするために契約についての内容を確認した。この結果、査読委員会で推薦した論文を、日本のSTWJ委員がSTWJへの投稿を推薦するかどうかの判断を行うことになった。最終的にはSTWJが推薦論文を採用するかどうかの判断を行うことが確認された。これに対応するために、投稿論文フォームを変更することが確認され、ウェブ投稿受け付けシステムを構築した。この過程で、現状のウェブサーバーでは使用しているソフトウェアのバージョンが古く対応できないことが、判明した。そこで、新しいウェブサーバ上で電子査読システムを構築した。これとともに、研究のより迅速な公開および海外への情報発信を行うためのWelding Lettersについてもウェブ投稿できるようにシステム変更を行った。

平成18年ウェブ査読開始当初は投稿論文査読期間が著しく短縮されたが、最近では長いものもみられ、平均も少し長くなる傾向がみられており、改善を行うために、投稿から査読審査結果を得るまでの郵送手続きをすべて廃止し、すべてウェブ上で行えるように査読システムの大幅な改善が行われた。平成28年度は投稿原稿の受付から登載決定までの平均日数は90日程度であり、掲載までは平均で150日程度である。また、Visual-JW2016に発表された論文の内、論文掲載を希望するものを査読し、採択したものをSpecial Issueとして発行した。

3.5 全国大会運営委員会（山本元道委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成28年度春季・秋季全国大会および平成29年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第98集および第99集を編集発行した。
- (3) 平成28年度秋季および平成29年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 平成28年度春季および秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀研究発表賞」、ならびに平成28年度秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀ポスター発表賞」の審査を実施した。
- (5) 優秀な口頭発表に対する「エキスプレス」投稿の無料特典者の推薦制度について、平成28年度春季および秋季全国大会を合わせて15件の推薦を決定した。これに伴い、学会事務局より該当者へ推薦の通知を行うとともに、「エキスプレス」投稿の特典（1年間有効）を贈呈した。
- (6) 平成27年度春季全国大会から開始した講演概要集のデジタル化に関して、参加者のニーズを把握し、随時、改善を行った。
- (7) 平成27年度秋季全国大会から開始したオーガナイズドセッションを継続募集し、平成28年度春季全国大会で1セッション、秋季全国大会3セッション実施した。
- (8) 平成29年度春季全国大会から講演申し込みおよび参加申し込みのWEB化、事前支払い（カード決済含む）、溶接学会個人ページとの連携等を開始した。
- (9) 平成29年度秋季全国大会からの支部支援金の使徒制限の撤廃を理事会に提案し、承認された。
- (10) 溶接学会における学術情報の新たな発信機能としての「Welding Letters」に関し、編集委員会および論文査読・審査委員会と連携しながら、平成29年度春の創刊の準備を行った。
- (11) 情報化委員会および論文査読・審査委員会と連携しながら、溶接学会サーバーの更新を検討・提案し、平成29年度春の更新の準備を行った。

3.6 溶接教育委員会（小川和博委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成28年度溶接入門講座を1回開催した。（前掲）
- (3) 平成28年度溶接工学夏季大学を1回開催した。（前掲）
- (4) 平成28年度溶接工学専門講座を1回開催した。（前掲）
- (5) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (6) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE12名、IWT2名、IWS8名がディプロマ資格を取得した。
- (7) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW特認コースWGを通してアナウンスした。
- (8) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関（大学・高専・工業高校）の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所のIIW-ATB活動の支援を行った。その結果、IWE8名が最終筆記試験に合格し、ディプロマ資格を取得した。

3.7 国際交流委員会（小関敏彦委員長）

- (1) 日本溶接会議（JIIW）の活動を通じ、国際溶接学会（IIW）の活動に参画した。第69回年次大会（平成28年7月10日～15日、メルボルン/オーストラリア）は48カ国から700名以上の参加者があり、盛況であった。
- (2) 第6回日本、中国、韓国3ヶ国ジョイントシンポジウム（EAST-WJ2016, The 6th East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining）が韓国・インチョンのPOSCO Global R&D Centerで平成28年9月8日～9日に開催され、日本から15名が参加した。
- (3) 国際会議「10th International Conference on Trends in Welding Research & 9WS」がAWS（American Welding Society）と共催で、平成28年10月11日～14日、一橋講堂（東京）で開催された。25カ国350人の参加者、300件の口頭・

ポスター発表があり盛況だった。

4. 若手会員の会（藤井啓道委員長）

4.1 若手会員のためのフォーラム

- (1) 春季全国大会イブニングフォーラム
主 題：若手研究のホットトピックス
講 演：徳永 仁寿 氏（新日鐵住金）、野々村 将一 氏（IHI）、生島 一樹（大阪府立大学）
日 時：平成28年4月13日（水）17:00～18:55
場 所：ATC（アジア太平洋トレードセンター）O's南6階（春季全国大会開催会場）
参加者：53名
- (2) 秋季全国大会ポスターセッション運営協力
日 時：平成28年9月14日（水）16:00～18:00
場 所：伊香保温泉 HOTEL天坊 9階 スカイホール天の川
発表件数：71件
参加者：約180名

4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 溶接・接合若手研究会
場 所：琵琶湖畔おごと温泉 木もれび
日 時：平成28年3月8日（火）、9日（水）
参加者：12名
講 演：小椋 智 氏（大阪大学）、荻野 陽輔 氏（大阪大学）、松田 朋己 氏（大阪大学）、伊奥田 宗慶 氏（大阪工業大学）、小濱 和之 氏（大阪大学）、藤井 啓道（東北大学）、廣畑 幹人 氏（名古屋大学）、高嶋 康人 氏（大阪大学）、門井 浩太 氏（広島大学）、野村 和史 氏（大阪大学）、尾崎 仁志 氏（三重大学）
- (2) 研究会と施設見学会（1回目）
場 所：日本高周波鋼業
日 時：平成28年6月29日（金）13:30～17:00
参加者：12名
講 演：荻野 陽輔 氏（大阪大学）、柿内 茂樹 氏（富山県工業技術センター）、伊奥田 宗慶 氏（大阪工業大学）
- (3) 研究会と施設見学会（2回目）
場 所：ダイヘン 六甲事業所
日 時：平成28年11月10日（木）13:30～17:00
参加者：9名
講 演：三浦 拓也 氏（福井大学）、小濱 和之 氏（大阪大学）
- (4) 研究会と施設見学会（3回目、九州支部若手グループと共催）
場 所：九州工業大学 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 2F 特別会議室、安川電機 ロボット村
日 時：平成28年12月16日（金）
参加者：24名
講 演：二保 知也 氏（九州工業大学）、北野 萌一 氏（物質材料研究機構）、仁木 隆裕 氏（東芝）、北村 貴典 氏（九州工業大学）

4.3 若手会員のための勉強会（WELNET勉強会）

- (1) 企画会議
日 時：平成28年6月29日（金）9:00～11:00
場 所：富山県工業技術センター
出 席：9名
- (2) 第1回勉強会
日 時：平成27年9月28日（月）14:30～15:30
場 所：ダイヘン 六甲事業所
話題提供者：永塚 公彬 氏（大阪大学）
出 席：9名

4.4 グローバルネットワーク活動

- 第6回 East-WJに3名の講師を派遣した。
講 師：松田 朋己 氏（大阪大学）、小濱 和之 氏（大阪大学）、伊奥田 宗慶 氏（大阪工業大学）

4.5 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、イブニングフォーラム、シンポジウムの報告等を掲載した。
- (2) 溶接学会誌の「スポットライトー若手の特集記事」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を6件、「じょうほう通」を2件、特集記事「冶金的アプローチによる溶

- 接・接合研究」を掲載した。
- (3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。
- (4) メーリングリスト (E-mail) による情報交換を促進した。
有効登録者数約213名 (平成28年 2月29日現在)
E-mail投稿数約47通 (平成27年 3月 1日から平成28年 2月29日まで)
- 4.6 若手会員の会運営委員会
計 2 回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。
- (1) 第54回運営委員会
日 時：平成28年 4月23日(木) 12:00～13:00
場 所：ATC (アジア太平洋トレードセンター) O's南6階 B3会議室 (春季全国大会開催会場)
出 席：25名 (委任15名)
- (2) 第55回運営委員会
日 時：平成28年 9月15日(木) 12:00～13:00
場 所：伊香保温泉 HOTEL天坊 2階「舞」
(秋季全国大会開催会場)
出 席：24名 (委任13名)
5. その他の諸会合
支部長連絡会議 (理事会合同開催) 2 回
6. 会勢
会員数 (平成29年 2月末現在)

賛助員		個人会員							団体員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生会員	合計	員数	口数	
344	797	33	76	10	2,307	209	2,635	27	27	

Ⅲ 平成28年度支部報告

1. 北海道支部 (田沼吉伸支部長)
1. 事業
- 1.1 平成28年度技術講習会
日 時：平成28年12月15日(木) 15:00～17:00
主 催：溶接学会北海道支部
協 賛：(一社)北海道溶接協会、北海道土木技術会鋼道路橋研究委員会
後 援：(一社)北海道機械工業会、(一社)日本溶接協会北海道地区溶接技術検定委員会
場 所：(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場研究棟 1F 研修室
参加者：21名
－溶接技能者教育の取り組み－
1) 近年の北海道地区溶接技能者評価試験結果の分析
北海道科学大学 田沼吉伸
2) 帯広溶接協会の溶接技能者教育の取り組み
帯広溶接協会会長 河合武洋
3) 造船分野における溶接方法と技能者教育の取り組み
函館どつく(株) 三和 勇
- 1.2 見学会
日 時：平成28年12月15日(木) 13:00～14:40
場 所：(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場
参加者：12名
内 容：試験場内諸設備や研究成果等の見学
2. 会 務
- 2.1 平成28年度支部商議員会並びに支部総会
日 時：平成28年 3月17日(木) 14:40～15:30
場 所：北海道科学大学HITプラザ特別室
議 事：1) 平成27年度事業報告・決算報告・監査報告
2) 平成28年度事業計画・収支予算
3) 平成27年度秋季全国大会(北海道大会)実施結果について
- 2.2 各賞授賞審査および選考
平成28年度の各賞の審査および選考を書面審議により行った。
(1) 溶接学会溶接技術普及賞 1 名
(2) 溶接学会溶接技術奨励賞 1 名
(3) 溶接学会北海道支部学生奨学賞 1 名
- 2.3 表彰
(1) 平成27年度溶接技術普及賞
日 時：平成28年 3月17日(木)

- 場 所：北海道科学大学HITプラザ特別室
安田 敦 氏 (㈱安田鉄工所)
- (2) 平成27年度溶接技術奨励賞
日 時：平成28年 3月17日(木)
場 所：北海道科学大学HITプラザ特別室
安久津昌義 氏 (日農機製工(株))
- (3) 平成27年度溶接学会北海道支部学生奨学賞
北海道大学大学院工学研究院 越山将行君
平成28年 3月に賞状と楯を推薦者に送付し、推薦者から、修了式時に表彰
- (4) 平成28年度北海道地区溶接技術競技大会
日 時：平成28年 8月 5日(金)
場 所：札幌全日空ホテル
(一社)溶接学会北海道支部長賞
被覆アーク溶接の部 木藤大樹 氏(日鋼MEC(株))
半自動アーク溶接の部 東 真司 氏(㈱植崎製作所)
- 2.4 幹事会
第 1 回：平成28年 3月17日(木) 13:00～14:30
場 所：北海道科学大学HITプラザ特別室
第 2 回：平成28年 6月 9日(木) 15:00～16:30
場 所：北海道立総合研究機構 工業試験場 第二会議室
2. 東北支部 (木村光彦支部長)
1. 事業
- 1.1 第28回溶接・接合研究会 (溶接学会支部活動強化費による支援)
主 催：溶接学会 東北支部
後 援：軽金属学会 東北支部
日 時：平成28年 7月22日(金) 13:00～16:55
会 場：八戸グランドホテル (八戸市番町14番地)
参加者数：40名
(IIW履修ポイント：2pt (M1:1.06pt, M2:0.94pt),
WESクレジットポイント：4ポイント認定)
- 特別講演 1 件
(1) 「なんでも溶接どこでも接合」
東北大学 大学院工学研究科 粉川博之
- 研究発表12件
(1) 極低スパッタCO₂溶接技術の開発
JFEスチール(株)
○上月渉平, 早川直哉, 角 博幸, 池田倫正, 大井健次
JFEテクノリサーチ(株) 片岡時彦
(2) 溶射用超硬質皮膜形成能を有するレアメタルレス新規鉄合金の開発
ハード工業(有) ○山形琢一
岩手大学 工学部 末永陽介
東北大学 金属材料研究所 千葉晶彦
(3) 金属溶射の塗装工程省力化工法 (SIC工法)
(株)中央コーポレーション
○猪狩達夫, 新銀 武, 三浦正人
(4) スラリー製造方法のナノ造粒粉末形態への影響
岩手県工業技術センター
○桑嶋孝幸, 園田哲也, 平野高広, 佐藤 恵
パウレックス 安岡淳一
(株)釜石電機製作所 佐藤一彦
(5) ファイバーレーザーで作製した微細溶接線近傍におこる微生物付着挙動の可視化
秋田大学 大学院理工学研究科 ○宮野泰征
筑波大学 大学院生命環境科学研究科
渡辺宏紀, 清川達則, 野村暢彦
秋田大学 工学資源学部 継田唯俊
大阪大学 接合科学研究所 佐藤雄二, 塚本雅裕
(6) ニオブ溶接の種々の分析事例紹介
岩手県工業技術センター
桑嶋孝幸, ○久保貴寛, 園田哲也, 目黒和幸
(7) 各種接合法によるステンレス鋼/アルミニウム合金継手における界面反応層に関する研究
青森県産業技術センター 八戸地域研究所
○加藤大樹, 中居久明, 佐々木正司
(8) 中炭素鋼 (S55C) 摩擦攪拌接合継手の機械的特性に及ぼ

す入熱量の影響

秋田大学 大学院工学資源学研究科 ○牧野滉平
秋田大学 大学院理工学研究科 宮野泰征, 神谷 修
大阪大学 接合科学研究所 上路林太郎, 藤井英俊
新日鐵住金(株) 泰山正則

(9) 中炭素鋼の摩擦攪拌接合における水中施工の影響

東北大学 大学院工学研究科
○宮森智子, 佐藤 裕, 粉川博之

(10) 5083アルミニウム合金の摩擦攪拌接合過程における入熱の実験的測定

東北大学 大学院工学研究科
佐藤 裕, ○古谷拓希, 大沼峻輝, 池田和広, 粉川博之

懇親会：八戸グランドホテル（八戸市番町14番地）

1.2 平成28年度 溶接・接合技術 基礎セミナー（溶接学会支部活動強化費による支援）

主 催：溶接学会 東北支部

日 時：平成28年 8月19日(金) 13:30-16:50

平成28年 8月20日(土) 9:00-12:15

会 場：ホテルニューカリーナ 2階 ルピナス
(盛岡市菜園2丁目3-7)

参加者数：27名

(IIW履修ポイント：3.6pt (M1:1.1pt, M2:0.7pt, M3:0.8pt, M4:1.0pt),

WESクレジットポイント：7ポイント認定)

一般講演 4 件

(1) 溶接法および溶接機器

岩手県工業技術センター 桑嶋孝幸

(2) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性

東北大学大学院工学研究科 佐藤 裕

(3) 溶接構造の力学と設計

大阪大学 大学院工学研究科 大畑 充

(4) 溶接施工・管理

北日本機械 (株) 作山和久

2. 会務

2.1 第53回商議員会

日 時：平成28年 5月14日(土) 10:55-

会 場：東北地区溶接技術検定委員会 会議室
(仙台市泉区明通4-5-5)

2.2 表彰

(1) 溶接技術奨励賞ならびに普及賞

表彰日：平成28年 5月14日(土)

場 所：東北地区溶接技術検定委員会 会議室
(仙台市泉区明通4-5-5)

平成27年度溶接技術奨励賞：2 名

平成27年度溶接技術普及賞：2 名

(2) 溶接学会本部および東北支部奨学賞

報告日：平成28年 5月14日(土)

場 所：東北地区溶接技術検定委員会 会議室
(仙台市泉区明通4-5-5)

平成27年度溶接学会奨学賞（報告）：1 名

平成27年度溶接学会東北支部奨学賞（報告）：7 名

表彰日：平成29年 1月31日(火)

平成28年度溶接学会東北支部奨学賞：6 名

(3) 溶接・接合研究会 企業優秀発表賞および企業発表特別賞

報告日：平成28年 5月14日(土)

場 所：東北地区溶接技術検定委員会 会議室
(仙台市泉区明通4-5-5)

第27回溶接・接合研究会 企業優秀発表賞（報告）：1 名

第27回溶接・接合研究会 企業発表特別賞（報告）：2 名

表彰日：平成28年 7月22日(金)

場 所：八戸グランドホテル（八戸市番町14番地）

第28回溶接・接合研究会 企業優秀発表賞：1 名

第28回溶接・接合研究会 企業発表特別賞：2 名

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に電子メール送信もしくは郵送（平成28年 6月16日付）

3. 東部支部（楠元一臣支部長）

1. 事業

1.1 平成28年度秋季全国大会

日 時：平成28年 9月14日(水)～16日(金)

場 所：伊香保温泉(群馬県)

HOTEL天坊（群馬県渋川市伊香保町396-20）

支部主催行事

(1) 懇親会

(2) 技術セッション：輸送機器製造における溶接技術

(3) ワークショップ：実用金属材料の溶接・切断の実際と勘所

(4) 製品・カタログ展示

1.2 地区講演会・講習会など

(1) 東京地区（地区委員長：笹木聖人（日鐵住金溶接工業））

本年度は実施せず。

(2) 神奈川地区（地区委員長：小川 亮（神戸製鋼所））

本年度は実施せず。

(3) 千葉地区（地区委員長：加藤数良（日本大学））

千葉地区講習会

主 催：(一社)千葉県溶接協会

共 催：溶接学会 東部支部（千葉地区）

開催日時：平成28年 3月24日(木) 9:30～15:45

開催場所：千葉県産業支援技術研究所

(千葉県稲毛区天台6-13-1)

参加者：47名

講習会テーマ：溶接・溶断の歴史的技術変遷と現状について

Part II

講演題目：

1)「高層ビル製作の技術変遷について」

(社)鉄骨建設業協会 松下眞治

2)「造船の技術変遷について」 三井造船(株) 志水栄一

3)「溶接ロボットの技術変遷について」

(株)ダイヘン 藤澤 祥

4)「ステンレス鋼溶接の技術変遷について」

(株)タセト 岡崎 司

(4) 埼玉地区（地区委員長：金子裕良（埼玉大学））

埼玉地区講習会

主 催：溶接学会東部支部埼玉地区、(一社)埼玉県溶接協会

開催日時：平成28年 7月30日(土) 13:30～16:00

開催場所：埼玉県鉄構会館

(埼玉県川越市大字久下戸3081-1)

参 加 者：32名

講演題目：「建築鉄骨における鋼材・溶接・検査－歴史的変遷から技術の真髄を究める－」

(有)アクトエイションハート 笠原基弘

(5) 群馬地区（地区委員長：楠元一臣（群馬大学））

平成27年度加工技術分科会講演会

主 催：NPO法人北関東産官学研究会 群馬地区技術交流研究会加工技術分科会

協 賛：溶接学会 東部支部群馬地区

日 時：平成28年 3月30日(水) 13:00～16:00

場 所：群馬大学理工学部 プロジェクト研究棟 P203

(群馬県桐生市天神町1-5-1)

参加者：20名

講演題目：「モノをつなぐ匠な技とそれを見極める術

－鉄鋼・溶接・検査技術の変遷－」

(有)アクトエイションハート 笠原基弘

(6) 栃木地区（地区委員長：中島章典（宇都宮大学））

本年度は実施せず。

(7) 茨城地区（地区委員長：中村照美（物質・材料研究機構））

本年度は実施せず。

(8) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県工業技術センター））

本年度は実施せず。

(9) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学））

本年度は実施せず。

(10) 新潟地区（地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学））

新潟地区講演会

主 催：溶接学会東部支部、日本材料学会北陸信越支部、一般財団法人燕三条地場産業振興センター

開催日時：平成28年 3月30日(水) 13:30～17:30

開催場所：燕三条地場産センターリサーチコア

(三条市須頃1-17) 6F 研修室3,4

参 加 者：70名

講演題目：「溶接・接合技術の適用事例と最近の動向」

1) 「レーザ溶接及び接合技術の適用事例と最近の動向」
日産自動車(株) 生産技術本部 松山 秀信 氏

2) 「ろう付の適用事例と最近の動向」
東京プレイズ(株) 松 康太郎 氏

3) 「金属接着剤の適用事例と最近の動向」
セメダイン(株) 技術本部 秋本雅人 氏

2. 会務報告

2.1 平成28年度支部通常総会

(第182回溶接学会東部支部常任幹事地区委員長会議と合同開催)

開催日時：平成28年 5月25日(水) 15:45～16:40

開催場所：第7東ビル 103号室

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9

議 題：1) 平成27年度 事業報告および会務報告

2) 平成27年度 収支決算報告

3) 平成27年度 監査報告

4) 平成28年度 事業計画

5) 平成28年度 収支予算

6) 平成27年度 溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞
の受賞者紹介

7) 平成27年度 溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞
の表彰式

2.2 常任幹事・地区委員長会議

第181回 平成28年 3月11日(金) 10:00～12:00

東京都産業労働局秋葉原庁舎

第182回 平成28年 5月25日(水) 15:00～16:40 第7東ビル
(平成28年度支部通常総会と合同開催)

第183回 平成28年 9月 2日(金) 14:00～16:00 第7東ビル

第184回 平成28年12月 2日(金) 15:00～17:00 第7東ビル

第185回 平成29年 1月27日(金) 15:00～17:00 第7東ビル

2.3 各賞受賞審査委員会

平成28年度 溶接学会 東部支部 各賞審査委員会を下記のように
組織し、書面審査した。

審査委員会：平野委員長、安田委員、楠元委員、宮下委員、松
山委員 (5名)

審査期間：平成29年 1月27日(金)～1月31日(火)

審査結果報告：平成29年 1月31日(火)

審査の結果、平成28年度各賞候補者をそれぞれ下記の各氏(敬
称略)にすることを決定した。

【溶接学術振興賞】

結城 正弘 (株) I H I

【溶接技術奨励賞】

伊原 大輔 日酸TANAKA(株)

【溶接技術普及賞】

中込 忠男 信州大学

【溶接学会奨学賞】

伊藤 充哉 埼玉大学大学院理工学研究科数理電子情報
系専攻博士前期課程2年

金崎信太郎 信州大学大学院 理工学系研究科 建築学専
攻修士課程2年

戸野塚 悠 群馬大学大学院理工学府知能機械創製理工
学教育プログラム博士前期課程1年

2.4 表彰

(1) 平成27年度 溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞の表彰

平成28年 5月25日(水)(於：第7東ビル)

平成28年度通常総会にて受賞式を行い、下記受賞者を表彰した。
受賞祝賀会：プロント 秋葉原駅北口店にて実施した。

【溶接技術奨励賞】

松本 泰一 コマツ

山本 光 日立建機(株)

【溶接技術普及賞】

矢野 徳仁 山梨県立韮崎工業高等学校

熊谷 英一 (株) 神戸製鋼所

(2) 平成27年度溶接学会奨学賞の表彰

平成28年 3月榎を推薦者に送付し、推薦者から下記受賞者に
榎を授与して表彰した。

【溶接学会奨学賞】

寺井 克 日本大学大学院 生産工学研究科 博士前期
課程機械工学専攻 2年

内山 学 群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻 知能
機械創製理工学教育プログラム 2年次

4. 東海支部(浜谷秀樹支部長)

1. 事業報告

1.1 溶接研究会、講習会など

(1) 溶接研究会

第85回 平成28年 9月29日(木) 13:15～17:00

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室 52名

テーマ：「自動車・電子部品関連におけるマイクロ接合技術
特集」

「電子ビームを用いたマイクロ接合技術動向」

多田電機 吉川利幸氏

「抵抗溶接および超音波溶接を用いた微細接合技術動向」

「自動車部品における微細接合の実用化」

デンソー 白井秀彰氏

「接合界面および表面分析評価技術最前線」

JFEテクノリサーチ 橋本 哲氏

第86回 平成28年10月28日(金)

場 所：ウィルあいち 第4会議室 45名

テーマ：「溶接・溶射における材料評価技術」

「溶射皮膜の界面強度評価」

新潟工科大学 山崎泰広氏

「溶射皮膜のEBSD、ラマン分析」

名城大学理工学部 来海博央氏

「cos α 法を用いたX線残留応力測定法とその活用事例」

パルステック工業(株) 技術部 野末秀和氏

「火力発電ボイラを対象とした超音波探傷技術」

(株) IHI 技術開発本部 畠中宏明氏

第87回 平成29年 3月23日(木) 13:05～17:00

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室 34名

テーマ：「厚板のアーカ溶接」

「厚板向けアーカ溶接法の開発」

ダイヘン 小野貢平氏

「厚手鋼板向け立向き高能率溶接技術の開発」

「鉄骨・建築向けフラックス入りワイヤ」

日鐵住金溶接工業 坂林直樹氏

「橋梁および造船向け溶接ロボットシステムの紹介」

JMUディフェンスシステムズ 草野兼光氏

(2) 講習会

第22回 平成28年11月16日(木) 9:25～16:50

場 所：名古屋市工業研究所 第1会議室 6名

「溶接法および溶接機器」

自動車部品溶接研究所 松井仁志

「金属材料の溶接性ならびに溶接部の特性」

大同特殊鋼 上仲明郎

「溶接構造の力学と設計」

岐阜大学 植松美彦

「溶接施工・管理」

IHI 大賀 進

2. 会務

2.1 平成28年度支部総会及び特別講演

日 時：平成28年 5月25日(水) 15:00～16:35

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室 33名

総会議題

1) 平成27年度事業報告及び決算報告

2) 平成27年度溶接学術振興賞受賞のご紹介

大同大学 平 博仁先生

3) 平成27年度溶接学会技術賞支部授賞式：

溶接技術奨励賞受賞者：熊谷達也氏

溶接技術奨励賞受賞者：樋口 匡氏

溶接技術普及賞受賞者：蜷 川 保氏

溶接技術普及賞受賞者：山中忠志氏

4) 支部規約の改正

5) 平成28年度事業計画案及び平成28年度予算案の審議

特別講演

「ボピンツール方式FSWの開発とH-IIBロケットへの適用」 三菱重工業 佐藤広明氏 2.2 支部商議員会 第1回商議員会 平成28年5月25日(水) 於：名古屋市工業研究所 視聴覚室 第2回商議員会 平成28年12月14日(水) 於：ウインクあいち 第1回支部WG 平成28年8月5日(金) 於：ウインクあいち 第2回支部WG 平成28年12月14日(水) 於：ウインクあいち その他 3. 協賛行事 1) 日本溶接技術センター・愛知県溶接協会 抵抗溶接実務教育訓練講習会 平成28年6月16日～17日、平成28年11月17日～18日 5. 北陸支部(柴柳敏哉支部長) 1. 事業 1.1 講演会 (1) 特別講演会 開催日：平成28年6月23日(水) 14:00～15:00 会 場：富山県工業技術センター 技術開発館ホール (富山県高岡市二上町150) 共催者：富山県溶接協会、富山県工業技術センター 参加者：40名 内 容：(講演)「最新の超音波映像技術～材料の内部組成・欠陥の可視化と接合界面の評価～」 (株)日立パワーソリューションズ ファインテック開発センタ 主任技師 樋山 雅樹 氏 (2) 最新技術紹介 開催日：平成28年6月23日(水) 15:10～15:30 会 場：富山県工業技術センター 技術開発館ホール (富山県高岡市二上町150) 共催者：富山県溶接協会、富山県工業技術センター 参加者：40名 内 容：(演題)「工業技術センターにおける超音波関連設備・技術のご紹介～フェーズドアレイ超音波探傷試験機を中心として～」 富山県工業技術センター ものづくり研究開発センター 主任研究員 山岸 英樹 氏 (3) 研究発表会 開催日：平成28年6月23日(水) 15:30～16:30 会 場：富山県工業技術センター 技術開発館ホール (富山県高岡市二上町150) 発表1 「レーザ溶接時の高周波誘導加熱による溶接部硬さの低減」 福井大学大学院工学研究科機械工学専攻 修士課程1年 松尾 悠 君 発表2 「Pdを溶加材にしたステンレス鋼とTi-Ni合金の高強度微細溶接」 福井大学大学院工学研究科機械工学専攻 修士課程1年 八木 聡志 君 発表3 「摩擦攪拌接合における未接合部Kissing Bondと疲労挙動の関係」 富山大学大学院 工学研究科材料機能工学専攻 修士課程2年 渡辺 明誉 君 発表4 「超音波フェーズドアレイ法による摩擦攪拌接合部の非破壊検査」 富山大学大学院 工学研究科機械システム工学専攻 修士課程2年 井上 克浩 君 表彰式：最優秀研究発表賞 1名、優秀研究発表賞 3名 2. 会務 2.1 幹事会・商議員会 日 時：平成28年6月23日(水) 12:30～13:30 場 所：富山県工業技術センター 中央研究所 第1会議室(富山県高岡市二上町150) 参加者：10名 議 事：H28、29年度役員改選 平成27年度事業及び決算報告	平成28年度事業計画及び予算 支部長会議報告 支部研究発表表彰について 特別講演及び研究発表について その他 6. 関西支部(才田一幸支部長) 1. 事業 1.1 平成28年度技術交流会 特別講演 日 時：平成28年5月20日(金) 16:30～17:00 場 所：ホテルプラザオーサカ(大阪) 出席者：21名 講演件数：1件 ・レーザ超音波法の溶接インプロセスモニタリングへの適用 (大阪大学 浅井 知氏) 1.2 平成27年度支部表彰授与式 日 時：平成28年5月20日(金) 16:15～16:30 場 所：ホテルプラザオーサカ(大阪) 【溶接技術奨励賞】 (株)ダイヘン 上山智之 氏 新明和工業(株) 竹内 清 氏 神鋼検査サービス(株) 山路鉄生 氏 1.3 平成28年度講演・見学会 日 時：平成28年12月2日(金) 13:20～16:50 場 所：(株)ダイヘン六甲事業所 参加者：22名 講演件数：2件 ・最新デジタル交流パルス溶接法について (株)ダイヘン 近藤わかな氏) ・ロボット溶接品質管理システムについて (株)ダイヘン 中川慎一郎氏) 工場見学：(株)ダイヘン六甲事業所 ロボット工場・テクニカルセンター 2. 会務 2.1 幹事会 日 時：平成28年5月20日(金) 15:00～16:15 場 所：ホテルプラザオーサカ(大阪) 出席者：21名 議 事：(1) 平成27年度幹事会議事録の件 (2) 平成27年度活動報告の件 (3) 平成27年度支部決算報告の件 (4) 監査報告 (5) 平成28・29年度支部役員体制の件 (6) 平成28年度活動計画 (7) 講演・工場見学会の件 (8) 平成28年度予算案 7. 中国支部(小林敏郎支部長) 1. 事業 1.1 講演会および講習会 1.1.1 特別講演会1 (1) 開催日時：7月6日(水) 12:50～14:20 (2) 場 所：広島大学工学部第一類会議室A3棟131号室 (3) 参加者：30名 (4) 講演題目および講師 題 目：Advanced joining process 講 師：Prof. Ernesto Indacochea(米国 イリノイ大学シカゴ校工学部) 1.1.2 特別講演会2 (1) 開催日時：7月6日(金) 12:50～14:20 (2) 場 所：広島大学工学部第一類会議室A3棟131号室 (3) 参加者：30名 (4) 講演題目および講師 題 目：Application of phase transformation to steel development and welding 講 師：李 鍾鳳(韓国 浦項工科大学大学院教授) 1.1.3 特別講演会3 (1) 開催日時：8月3日(水) 14:35～16:05 (2) 場 所：広島大学工学部第一類会議室A3棟131号室 (3) 参加者：30名
--	--

(4) 講演題目および講師 題 目：レーザ溶接の応用 講 師：片山聖二 (大阪大学名誉教授 元阪大接合研所長) 1.1.4 特別セミナー (共催事業) 溶接学会「先進観察技術活用研究会」・広島大学ものづくり研究拠点「溶接・接合部会」セミナー 「可視化センサーによる先端的観察技術」 (1) 開催日時：10月7日(金) 13:00～18:30 (2) 場 所：広島大学大学院工学研究科 B棟114号室, G4棟実験室 (3) 参加者：40名 (4) 講演題目 (講師) (a) 溶接プロセスのモニタリングとインプロセス品質管理 (大阪大学 浅井 知) (b) ナック溶接現象解析システムの紹介 (㈱ナックイメージングテクノロジー 松村 哲) (c) 溶接現場における可視化・温度解析のニーズと技術紹介 (㈱ノビテック 臼井寛之) (d) 狭開先ホットワイヤ・レーザ溶接時の溶け込み形状予測 (広島大学 山本元道) (e) 実演・展示 (㈱ナックイメージングテクノロジー, ㈱ノビテック) 1.1.5 抵抗溶接実務教育訓練講習会 (後援事業) (1) 開催時期：9月26～27日 (2) 場 所：広島市 (中国地区溶接技術検定委員会) (3) 参加者：20名 (4) 講演題目・講師：高橋靖雄 (元新日鐵住金), 長谷川和芳 (元電元社), 近藤正恒 (愛知県溶接協会) (a) 第1日目 『講義』(基礎編) ・溶接原理と溶接特性 ・基本的な施工課題 『講義&実習』(応用編) ・施工課題の対策 ・溶接標準試験法, 試験体作製 ・スポット溶接連続打点性 (b) 第2日目 『講義』(応用編) ・各種材料の溶接性 ・品質管理の意義と手法 『実習&質疑』 ・品質検査管理記録 1.2 溶接接合工学学修会 1.2.1 平成28年度第1回溶接接合工学学修会(第15回) (1) 開催日時：平成28年7月8日(金) 10:00～16:40 (2) 場 所：広島市 (広島市工業技術センター) (参加者46名) (3) 講演題目 (講師) (a) 溶接法および溶接機器 (広島大学：真鍋幸男) (b) 溶接構造物の損傷例及び溶接構造の力学と設計 (広島大学：山本元道) (c) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性(広島大学：山本元道) 1.3 平成28年度見学会 (第17回) (1) 開催日時：平成28年9月7日(水) 13:30～15:20 (2) 場 所：ヤマネ鉄工建設㈱(山口県長門市) (参加者19名) 1.4 溶接学会中国支部主催「第1回 学生発表会」 (1) 日 時：平成28年12月24日(土) 13:00～15:50 (2) 開催場所：近畿大学 工学部 次世代基盤技術研究所 二階会議室 (参加者21名) (3) 発表題目 (発表学生) (a) 放射光マイクロ加工技術を用いた医療・環境分析システム用マイクロ流路形状の適正化に関する研究 (津山高専 吉政雄平) (b) 超短パルスレーザを用いたガラスの微細溶融溶接 (岡山大学 太田元基) (c) ショットピーニングとレーザピーニングによる突合せ溶接部の疲労強度向上効果 (近畿大学 法月隆祐) (d) 核融合機器用ダイヤモンド窓の熱応力に関する研究 (津山高専 伊賀和博) (e) 応力三軸度と破断ひずみの計測に関する研究	(広島大学 竹内恒洋) (f) CDスタッド溶接による疲労き裂の簡易補修法に関する基礎的検討 (近畿大学 福田皓太) (g) フレキシブル有機EL用高分子薄膜の弾塑性変形特性の推定 (津山高専 沖田啓之進) (h) 外板展開を考慮したシームの最適化に関する研究 (広島大学 居原尚輝) (i) ホットワイヤ・レーザ溶接法による厚鋼板立向き溶接施工技術の開発 (広島大学 栢田康平) (j) 有機EL素子電極薄膜の割れ発生臨界歪みと電気抵抗変化の測定 (津山高専 木下徹規) (k) ホットワイヤ・レーザブレージング法による銅/アルミニウム合金異材接合技術の開発 (広島大学 高谷駿介) 2. 会務 2.1 支部幹事会 1) 第1回 (支部商議員会を同時開催) 日 時：平成29年3月22日(水) 13:00～15:30 場 所：ホテルJALシティ広島 議 題：(1) 平成28年度事業報告 (2) 平成28年度決算報告 (3) 平成29年度事業計画 (4) 平成29年度収支予算 (5) 平成28年度表彰報告 (6) 平成29年度支部体制 (7) 溶接技術講習会の件 (8) 研究会・見学会の件 (9) 溶接接合工学学修会の件 (10) その他 2.2 平成28年度支部総会 日 時：平成28年3月22日(水) 15:45～18:00 場 所：ホテルJALシティ広島 議 題：(1) 平成28年度事業報告 (2) 平成28年度決算報告 (3) 平成29年度事業計画 (4) 平成29年度収支予算 (5) 平成28年度表彰報告 (6) 平成29年度支部体制 (7) その他 受賞記念講演 JFEスチール㈱ スチール研究所 鋼材研究部 部長 長谷和邦 8. 四国支部(小原昌弘支部長) 1 事業 1.1 第21回材料関連学協会支部・研究会連合講演会 主 催：溶接学会四国支部 共 催：高温学会四国支部, 日本溶射協会中国四国支部, 四国地方非破壊検査研究会, 高知県溶接・レーザ研究会, 日本材料学会四国支部 日 時：平成28年3月11日(金) 13:00～17:15 場 所：(一社)日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会 件 数：13件 参加者：60名 優秀発表賞：3件 1.2 特別講演会 題 目：「摩擦攪拌処理により結晶粒微細化を施した Al-Mg 合金での超塑性変形挙動」 講 師：愛媛大学大学院 水口 隆 日 時：平成28年9月2日(金) 16:00～17:00 場 所：新居浜工業高等専門学校 参加者：20名 1.3 第26回溶接技術実用講座「最近の溶接施工技術の概要と応用」 日 時：平成28年11月18日(金) 13:30～17:15 場 所：高知県立地域職業訓練センター 講演数：4件 講演1「溶接割れの発生原因と防止対策」 株式会社アークリエイト 内田昌克 代表取締役 講演2「溶接変形および残留応力の予測と制御」 大阪大学接合科学研究所 村川英一 招聘教授 講演3「CO₂溶接とMAG (混合ガス) 溶接のかんどころ」
---	--

日本エア・リキード株式会社 二木克介 講演4「ロボット溶接と産業用ロボットの動向」 株式会社ダイヘン 研究開発部 恵良哲生 部長 参加者：100名 1.4 平成28年度見学会 日 時：平成28年11月18日(金) 9:00～11:40 場 所：(株)技研製作所, (株)垣内 参加者：93名 1.5 表彰 日 時：平成28年 9 月 2 日(金) 15:45～16:00 場 所：新居浜工業高等専門学校 【学術振興賞】吹田 義一 氏(香川高等専門学校 名誉教授) 【溶接技術奨励賞】津山 忠久 氏(川田工業(株)) 【溶接技術普及賞】小笠原 果 氏(三浦工業(株)) 【奨学賞】近藤 政孝 氏(愛媛大学工学部) 1.6 刊行 出版物名： ①第21回材料関連学協会支部・研究会連合講演会講演概要集 ②第26回溶接技術講座 資料 2 会務 2.1 H28・H29年度第1回幹事会 日 時：平成28年 3 月11日(金) 12:00～13:00 場 所：(一社)日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会 2.2 H28・H29年度第2回幹事会 日 時：平成28年 9 月 2 日(金) 13:30～14:45 場 所：新居浜工業高等専門学校 出席者：15名 2.3 支部総会 日 時：平成28年 9 月 2 日(金) 15:00～15:45 場 所：新居浜工業高等専門学校 出席者：17名 2.4 H28・H29年度第3回幹事会 日 時：平成28年11月18日(金) 12:00～13:00 場 所：高知県立地域職業訓練センター 出席者：16名 9. 九州支部(西尾 一政支部長) 1. 事業 1.1 平成28年度 溶接学会九州支部研究発表会 主 催：溶接学会九州支部 日 時：平成28年 7 月 9 日(土) 9:30～16:00 場 所：九州工業大学 百周年中村記念館 参加者：37名 研究発表：16件(研究題目と研究者は下記の通り) 1) S45C鋼のYAGレーザー表面改質法の検討 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○唐 明忠 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 山口 富子 西日本工業大学 西尾 一政 2) レーザ・アークハイブリッド溶接における3次元熱弾塑性解析の計算モデルの調査 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○中島 朋昭 山九株式会社 和田 洋二 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 山口 富子 西日本工業大学 西尾 一政 3) 高窒素ステンレス鋼スタッド溶接部における耐食性評価に関する研究 九州工業大学 大学院 生命体工学研究科 中野 光一 九州工業大学 大学院 生命体工学研究科(院生) ○佐本 景 4) アルミナイズド鋼の表面構成相に及ぼす鋼中パーライト量の影響 熊本大学 大学院 自然科学研究科(院生) ○福倉 慎哉 熊本大学 大学院 先端科学研究部 森園 靖浩 熊本大学 大学院 先端科学研究部 連川 貞弘 5) 亜鉛めっき鋼板の接触電気抵抗特性測定および抵抗スポット溶接への影響 九州工業大学 大学院 情報工学研究院 ○二保 知也 九州工業大学 大学院 情報工学府(院生) 池上 恭平 九州工業大学 大学院 情報工学研究院 堀江 知義 6) レーザ加熱により硬化領域を新成した抵抗スポット溶	接重ね継手の疲労強度 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 ○北村 貴典 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 秋山 哲也 九州工業大学 大学院 生命体工学研究科(院生) 佐藤 史和 7) 入熱量を変化させたレーザーフォーミングによる変形に及ぼす板幅の影響 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○石飛 秀士 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生・現 日立製作所) 中島 来歩 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) 田代 孝太 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 秋山 哲也 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 北村 貴典 8) レーザフォーミングに及ぼす加熱線曲率の影響 －V字レーザ加熱における角変形に及ぼす加熱線角度の影響－ 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○宋 征 九州工業大学 工学部(現 大和工業) 山本 智之 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 秋山 哲也 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 北村 貴典 9) レーザ・アークハイブリッド突合せ溶接施工におけるギャップ裕度拡大に向けた基礎検討 株式会社名村造船所, 九州大学 大学院工学府(院生) ○内野 一成 九州大学 大学院 工学府 建設システム工学専攻(院生) 青柳 了太 九州大学 大学院 工学府 建設システム工学専攻(院生) 竹下 竜平 九州大学 大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 後藤 浩二 10) 実亀裂面の亀裂開口挙動を考慮した疲労亀裂伝播シミュレーション 九州大学 大学院 工学府 建設システム工学専攻(院生) ○高木 芳史 九州大学 大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 後藤 浩二 11) 片持ち式回転曲げ疲労試験による軽金属材料(A6N01とAZX611)母材及びそれらのFSW継手の疲労強度評価 九州大学 大学院 工学府 建設システム工学専攻(院生) ○中込 聡 九州大学 工学部 技術室 技術専門職員 村上 幸治 九州大学 大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 後藤 浩二 12) 二軸繰返し応力を受ける面外ガセット継手の疲労亀裂伝播シミュレーション 九州大学 大学院 工学府 建設システム工学専攻(院生) ○清水 啓司 九州大学 大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 後藤 浩二 海上技術安全研究所 穴井 陽祐 海上技術安全研究所 丹羽 敏男 13) 疲労亀裂伝播中の画像を用いたPIV法による伝播挙動の評価 長崎大学 大学院 工学研究科(院生) ○小原 貴也 株式会社PAL 構造 才木 隼 株式会社タマディック 白石麻理子 長崎大学 大学院 工学研究科 勝田 順一 14) ねじれ曲面成形精度の部分加熱による改善 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○谷廣 駿典 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生・現 日本精工) 羽田 亮平 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) 中川 翔太 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 秋山 哲也 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 北村 貴典 15) 縦収縮を利用した曲面加工法における加熱順序が曲率に及ぼす影響の解明 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○福村 佳孝 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生・現 日立製作所) 岸 大祐 九州工業大学 工学部(現 WDS工学) 清水 忠 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 秋山 哲也 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 北村 貴典 16) 2回加熱した曲板の変形に及ぼす因子の数値解析による解明 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) ○片山 猛 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生・現 宇部マテリアルズ) 川辺 隆弘 九州工業大学 工学府 物質工学専攻(院生) 小松 竜介 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 秋山 哲也 九州工業大学 大学院 工学研究院 物質工学研究系 北村 貴典 1.2 第1回 学生と企業によるポスターセッション 日 時：平成28年12月2日(金) 13:00～16:00 場 所：九州工業大学 百周年中村記念館
--	---

参加数：42名

研究発表：23件（研究題目と研究者は下記の通り）

- PS-1 浮体式洋上風力発電施設係留鎖の耐摩耗性能評価に関する基礎検討
中川将孝, 村上幸治, 後藤浩二, 宇都宮智昭(九州大学)
- PS-2 過大圧縮作用時に生じる初期亀裂面閉口挙動を考慮した疲労亀裂伝播挙動
高木芳史, 後藤浩二(九州大学)
- PS-3 レーザアークハイブリッド溶接の船体建造工程への適用に向けた諸検討
竹下竜平, 青柳了太, 後藤浩二(九州大学)
- PS-4 レーザ・アークハイブリッド溶接による薄板の片側貫通T字継手の製作
青柳了太, 成松久雄*, 竹下竜平, 後藤浩二(九州大学, *定石造船)
- PS-5 二相ステンレス鋼板・ステンレスクラッド鋼板溶接継手部疲労強度の一考察
河野史也, 浜田健輔, 岡田公一(長崎総合科学大学)
内野耀太, 小山内宏徳, 大野敦弘, 勝田順一(長崎大学)
緒方洋典(株臼杵造船所) 矢島浩(矢島材料強度研究所)
- PS-6 入熱量を変化させたレーザフォーミングによる変形に及ぼす板幅の影響
石飛秀士(九州工業大学) 中島来歩(九州工業大学 現 日立製作所)
田代孝太, 秋山哲也, 北村貴典(九州工業大学)
- PS-7 レーザフォーミングに及ぼす加熱線曲率の影響
－V字レーザ加熱における角変形に及ぼす加熱線角度の影響－
宋征(九州工業大学) 山本智之(九州工業大学 現 大和工業) 秋山哲也, 北村貴典(九州工業大学)
- PS-8 レーザフォーミングにおけるねじれ曲面成形精度の部分加熱による改善
谷廣駿典(九州工業大学) 羽田亮平(九州工業大学 現 日本精工株式会社) 中川翔太, 秋山哲也, 北村貴典(九州工業大学)
- PS-9 縦収縮を利用した曲面加工法において加熱順序が曲面成形形状に与える影響の解明
福村佳孝(九州工業大学) 岸大祐(九州工業大学 現 日立製作所)
- 清水忠(九州工業大学 現WDS工学) 秋山哲也, 北村貴典(九州工業大学)
- PS-10 レーザフォーミングにおける2回加熱した曲板の変形に及ぼす因子の数値解析による解明
片山猛(九州工業大学) 川辺隆弘(九州工業大学 現 宇部マテリアルズ株式会社) 小松竜介, 秋山哲也, 北村貴典(九州工業大学)
- PS-11 脳認知を利用したヒューマンエラー起因の労働災害防止に関する研究
田邊諒磨(長崎大学大学院 工学研究科), 岡本勇也(長崎大学工学部工学科) 勝田順一(長崎大学 大学院 工学研究科)
- PS-12 鋼材の疲労亀裂伝播寿命におよぼす3次元結晶組織の影響に関する研究
内野耀太(長崎大学大学院 工学研究科), 平野智大(長崎大学工学部工学科) 勝田順一(長崎大学 大学院 工学研究科)
- PS-13 山九(株)の会社概要と取り組み
久我誠, 和田洋二, 井上智博(山九株式会社) 山口富子(九州工業大学) 西尾一政(西日本工業大学)
- PS-14 9Cr-1Mo-V鋼製プロセス機器の製造技術確立
堀内拓郎, 安部正光, 田中智大, 篠田薫, 中野真克(日立造船株式会社技術研究所)
- PS-15 マグネシウム合金の成型加工性に及ぼす摩擦攪拌プロセスの影響
伊波研人, 津村卓也(沖縄工業高等専門学校)
- PS-16 アークスタッド溶接を応用した異形棒鋼の突合せ

接合に関する研究

新井亮汰, 新里竜平, 津村卓也(沖縄工業高等専門学校) 金城豊(南村吉ガス圧接工業) 羽地龍志, 照屋駿(沖縄県工業技術センター) 眞喜志隆(沖縄工業高等専門学校)

- PS-17 真空圧延接合法によるA1050/C1020クラッド材の微細組織および接合部強さに及ぼす接合条件の影響
松本悟, 山口富子(九州工業大学) 西尾一政(西日本工業大学)
- PS-18 レーザ照射による鋼の溶接熱影響部の結晶粒微細化および疲労特性
三浦康平, 山口富子(九州工業大学) 西尾一政(西日本工業大学)
- PS-19 摩擦攪拌点接合法による難燃性マグネシウム合金と各種めっき鋼板との異材重ね接合に関する研究
金城匡佐武, 津村卓也(沖縄工業高等専門学校)
- PS-20 レーザ・アークハイブリッド突合せ溶接施工におけるギャップ裕度拡大に向けた基礎検討
内野一成(株式会社 名村造船所) 青柳了太, 竹下竜平, 後藤浩二(九州大学)
- PS-21 Ni基自溶性合金溶射皮膜に生じる残留応力評価
神林一輝(九州工業大学 大学院) 徳永辰也, 恵良秀則(九州工業大学)
- PS-22 エチレン製造装置における分解炉の保全技術
中野正大(株式会社 高田工業所)
- PS-23 水中衝撃波を用いたステンレス薄板と銅板の爆発圧着
大塚俊平(熊大院) 山下智也(熊大工) 稲尾大介(熊大技術部) 田中茂, 外本和幸(熊大パルスパワー研)

1.3 溶接学会学術振興受賞講演

日 時：平成28年12月2日(金)

場 所：九州工業大学 鳳龍会館

「レーザフォーミングの幾何学・力学・加熱法案」

九州工業大学 秋山哲也教授

1.4 若手研究グループ研究会・見学会

主 催：溶接学会九州支部（若手会員の会運営委員会との共催行事として実施）

日 時：平成28年12月16日(金) 12時30分～

研究会：場所：九州工業大学 戸畑キャンパス

百周年中村記念館2F 特別会議室

見学会：場所：株式会社安川電機 ロボット村

(北九州市八幡西区黒崎城石)

安川電機みらい館 ロボット第1工場 ロボット第2工場

参加者：24名（九州支部 20名, 溶接学会若手会員 4名）

1.5 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集, 第13号

2. 会務

2.1 平成28年度 商議員会

日 時：28年7月9日(土) 12:00～13:00

場 所：九州工業大学 百周年中村記念館

出席者：16名（他に委任状提出者12名）

2.2 表彰

商議員の書面審議にて、以下の表彰を審議

平成28年度本部溶接学会学術振興賞（推薦）：1名

平成28年度本部溶接学会技術奨励賞（推薦）：2名

平成28年度本部溶接学会技術普及賞（推薦）：2名

平成28年度本部溶接学会奨学賞（推薦）：2名

平成28年度九州支部奨学賞：2名

2.3 平成28年度 通常総会

日 時：28年7月9日(土) 13:00～13:30

会 場：九州工業大学 百周年中村記念館

出席者：37名

2.4 平成28年度 臨時商議員会

日 時：平成28年12月2日(金) 11:30～14:00

場 所：九州工業大学 百周年中村記念館

出席者：13名（他に委任状提出者13名）